

再編機運が高まるコイルセンター業界の動向

2021年3月

株式会社 三井住友銀行
コーポレート・アドバイザー本部 第二部
企業調査部

- 本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。
- 本資料は、作成日時点で弊行が一般に信頼できると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。
- ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じております。

1. 業界概観	2
2. 業界動向	5
3. コイルセンターを取り巻く環境の変化	11
4. 今後の方向性	15
Appendix: コイルセンター工場分布	19

1. 業界概観

業界概観① ～コイルセンターの役割、加工形態

✓ コイルセンター(以下、CC)は、元々鉄鋼メーカーが自社で手掛けていた機能が分離される形で独立化し、加工業者として鋼材加工(スリッター、レベラー、ブランクング、シャーリング)や品質管理といった機能を担うと共に、鉄鋼メーカーとユーザーの間で鋼材を円滑に流通させる役割を果たしています。

コイルセンター(CC)の役割

コイルセンター(CC)とは・・・

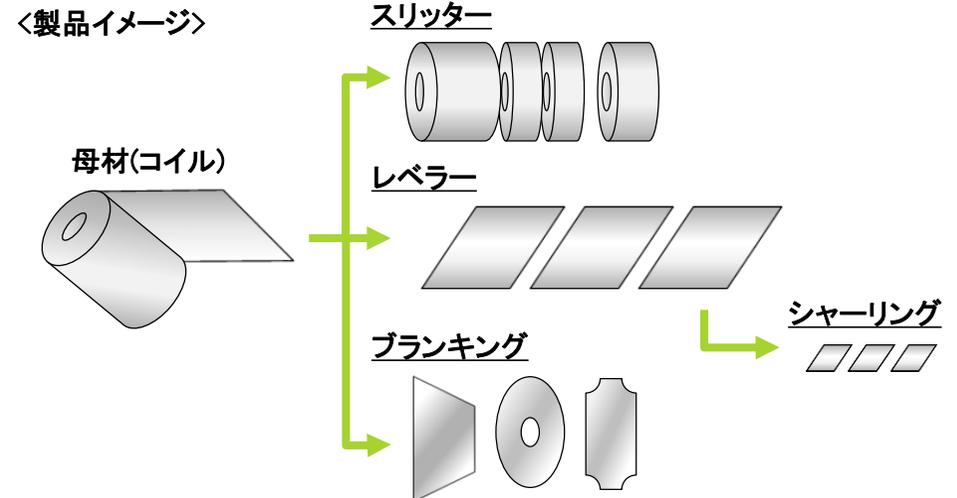
鉄鋼メーカー(主に高炉)により製造されたコイル(ロール状に巻かれた鋼板)に切断等を施す流通加工業者。
最終需要先は、自動車や建設、電機、等

コイルセンターの役割



加工形態

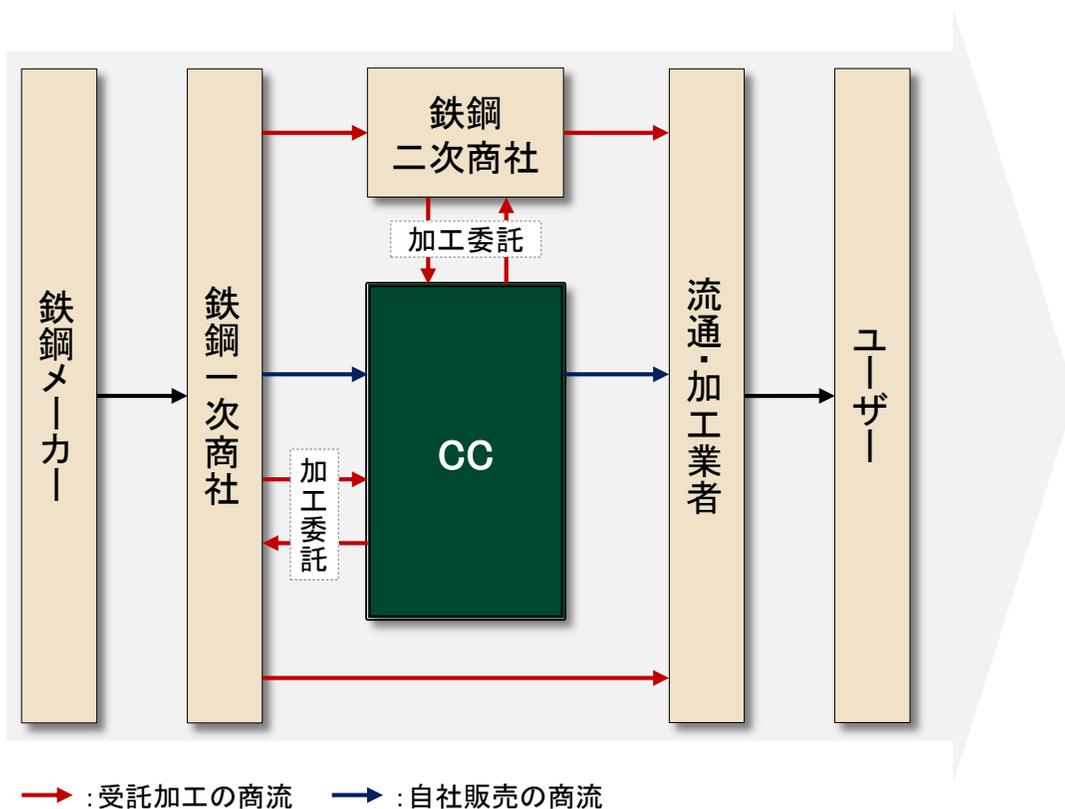
加工形態		加工内容
一次加工	スリッター	コイルを延ばし、狭幅に切断した上で、再度ロール状に巻き取る加工
	レベラー	延ばしたコイルに圧力を掛けて平坦度を高めた(反り・曲がりの矯正)上で切断する加工
	ブランクング	延ばしたコイルを型で打ち抜き、様々な形状の鋼板を製造する加工
二次加工	シャーリング	一次加工された鋼板を更に小サイズに切断する加工



業界概観② ～商流、取引形態

- ✓ CCの取引形態は、「受託加工」と「自社販売」に大別されます。受託加工は、商社等から支給されたコイルを加工した上で委託元へ引き渡す加工賃取引で、自動車向けを主体とする取引形態です。一方、自社販売は、必要なタイミングで都度コイルを調達し、加工を施した上で販売する取引で、受託加工に比べてロットが小さい点が特徴となっています。
- ✓ 但し、何れの取引形態でも、鉄鋼メーカーとユーザーの狭間で価格要請は厳しく、薄利を余儀なくされる傾向にあります。

主な商流



取引形態別の特徴

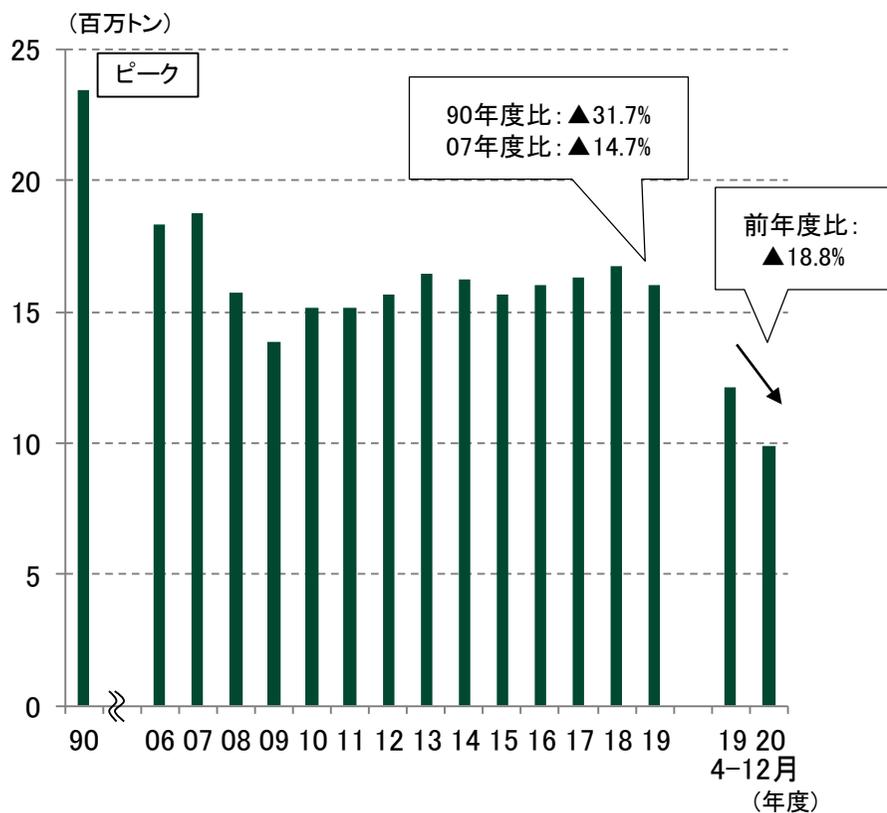
	受託加工	自社販売
市場構成比	60%	40%
取引毎のロット	大	小
利益の源泉	加工賃	販売価格と仕入価格の差
利幅の変動	安定的	市況等に応じて変動大
在庫リスク	無	有
主な需要家	自動車、造船	建設

2. 業界動向

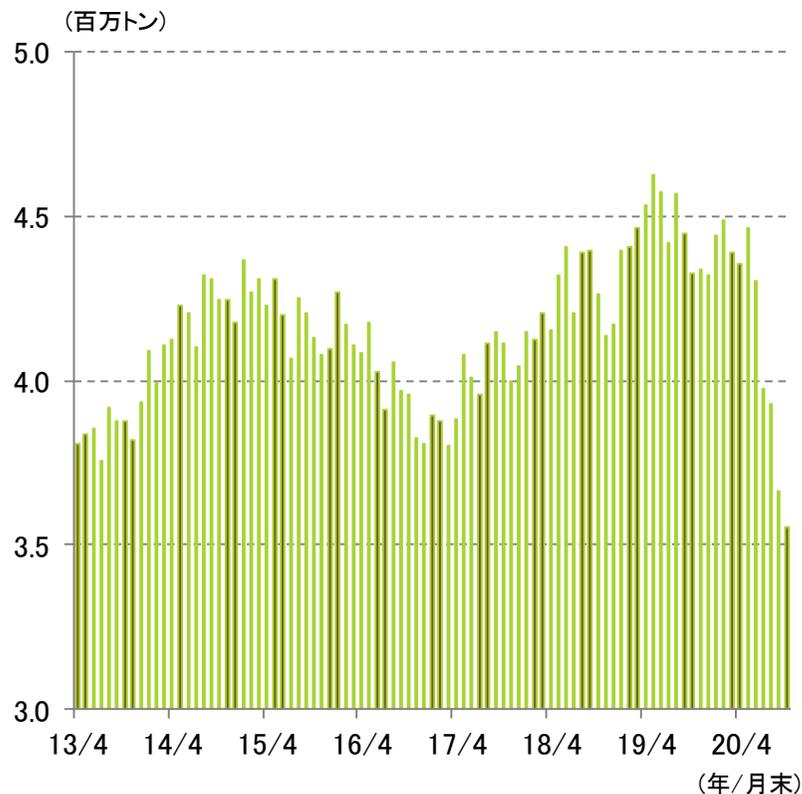
需要 ~コイルセンターによる出荷動向

- ✓ CCによる国内出荷量は、茲数年16百万トン台で推移してきましたが、ピーク比では約▲3割、リーマンショック前と比べても▲2割弱と、長期的に見れば市場縮小が進んできた経緯にあります。
- ✓ 足元新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け▲2割程度落ち込んだ需要は、感染収束後は回復に向かうと見られるものの、コロナ禍を契機としたライフスタイルの変化(テレワーク普及やビジネス出張減少等を背景とするオフィスビル・ホテルの新設低迷など)等を受けて従前並の水準に戻らない可能性があるほか、中長期的には人口減等から減少基調を辿ると見られます。

CCによる国内出荷量



(参考)薄板3品(熱延・冷延・表面処理鋼板)の在庫動向

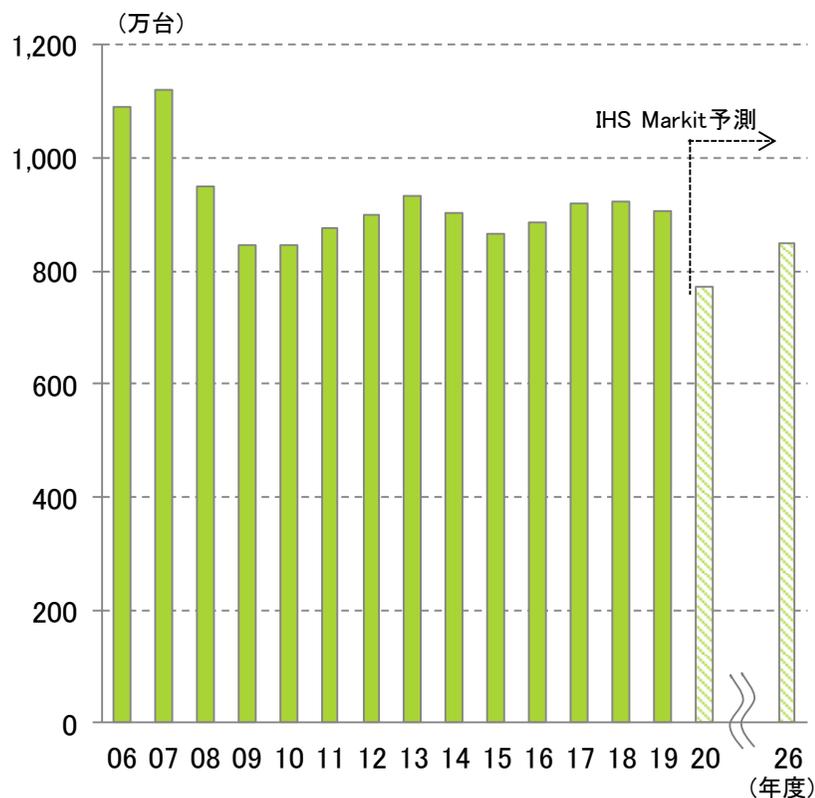


(出所)全国コイルセンター工業組合「流通調査結果」、経済産業省「生産動態統計」を基に弊社作成

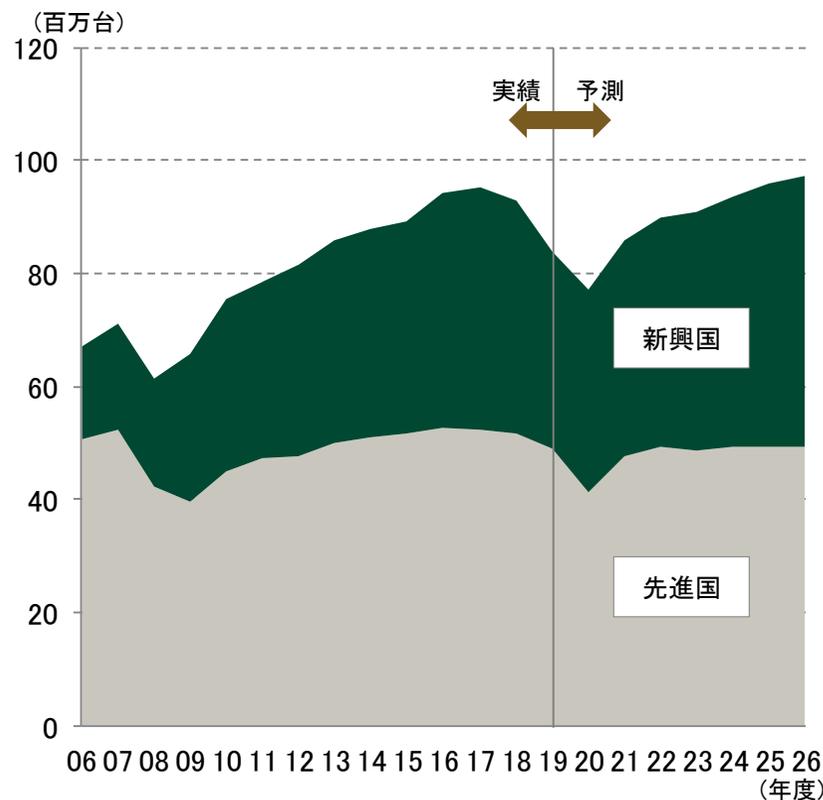
(参考)需要先の動向① ～国内自動車市場

- ✓ 国内自動車生産台数は07年度にピークとなった後、リーマンショックを経てやや持ち直しの動きも見られましたが、海外生産シフト等もあって、近時は頭打ちで推移しています。
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大により一時大幅に落ち込んだ生産台数は、足元既に回復に向かっていますが、中長期的には内需減や一段の海外シフト等から徐々に落ち込んでいくことが想定されます。

国内自動車生産台数



(参考)グローバル自動車生産台数

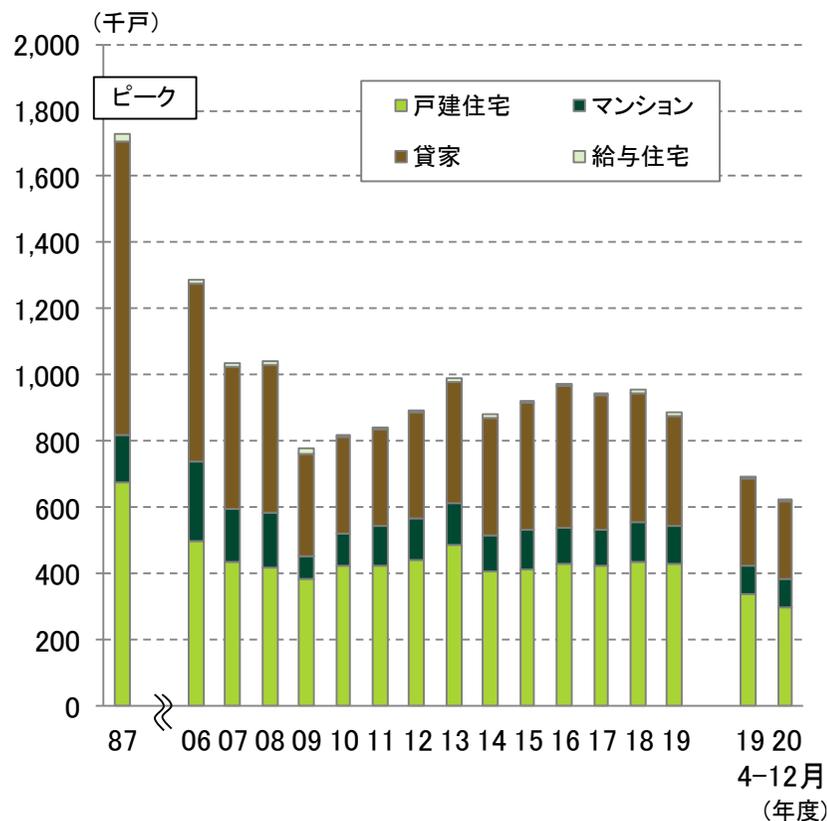


(出所) IHS Markit「Brand Segment LV Production Forecast」を基に弊行作成

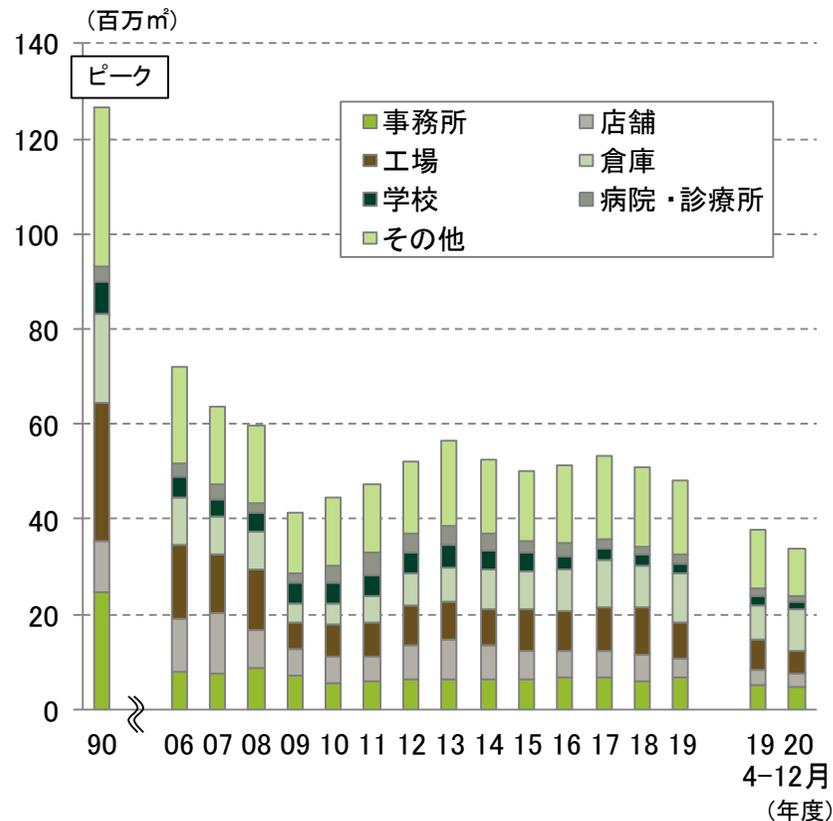
(参考)需要先の動向② ～国内建設市場

- ✓ 建築着工は、住宅・非住宅共にリーマンショック後の落ち込みからは回復しましたが、従前比では低水準に止まっています。
- ✓ コロナ禍を受けた施主の投資マインドの冷込みは、コロナ収束後には徐々に緩和されると見られますが、ライフスタイルの変化やインバウンド需要の蒸発等を背景として従前水準には戻らない可能性があるほか、中長期的には人口・世帯数の減少という構造的な要因から、住宅・非住宅共に落ち込む見通しです。

新設住宅着工戸数



非住宅着工床面積

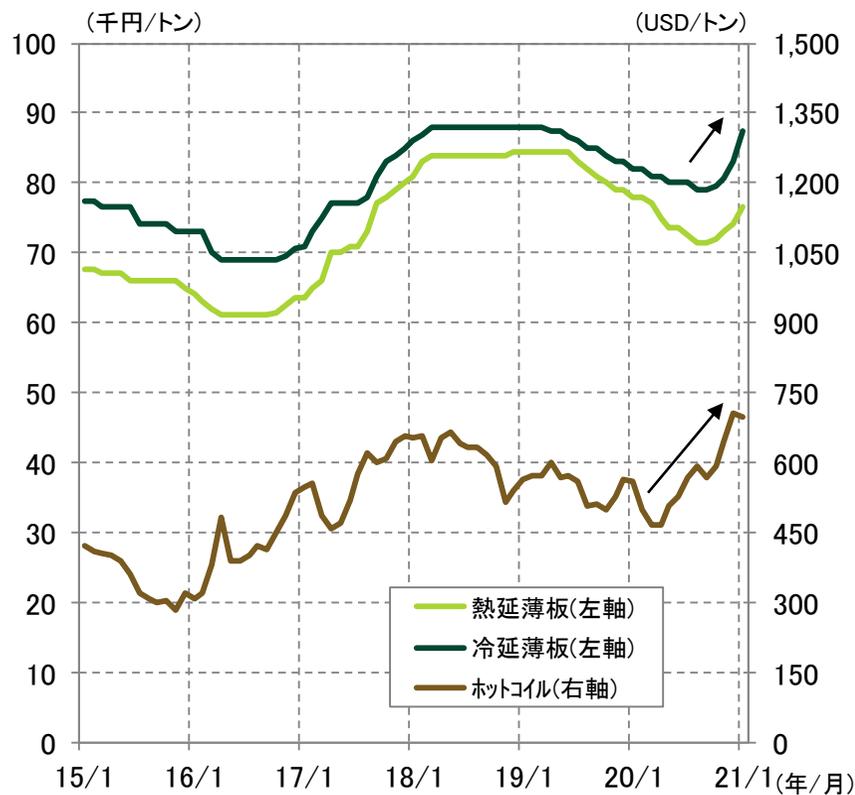


(出所)国土交通省「建築着工統計」を基に弊行作成

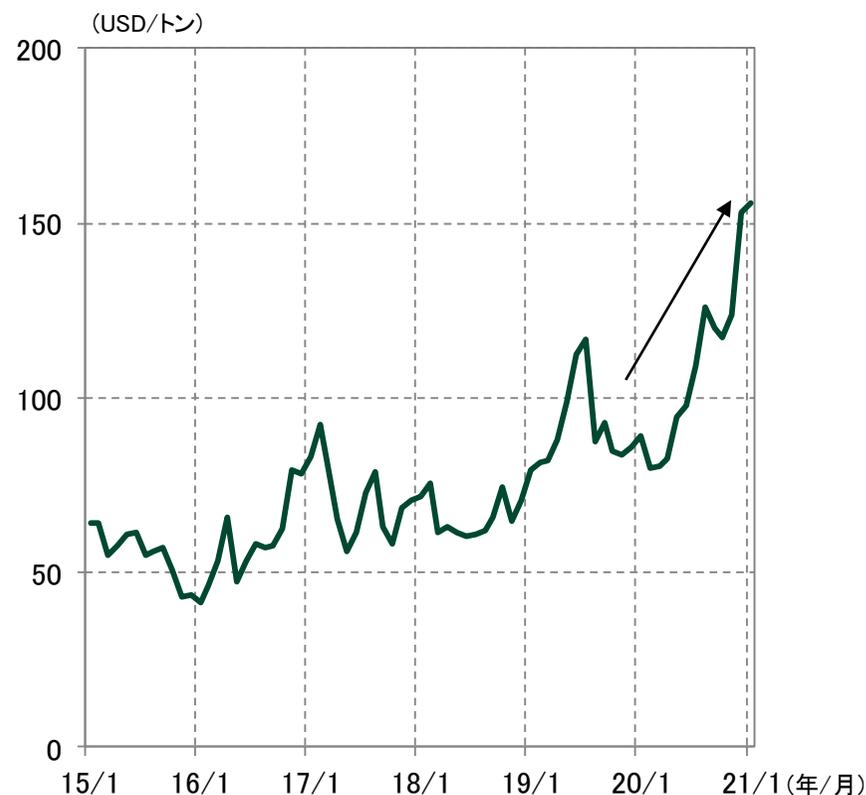
価格 ～鋼材及び鉄鉱石の市況動向

- ✓ 16～19年にかけて、中国政府の景気刺激策を背景として鉄鉱石(鉄鋼原料)・鋼材価格共に上昇しましたが、以降は米中貿易摩擦に端を発する世界的な景気減速感の高まりから下落傾向で推移しました。
- ✓ 足元では、新型コロナウイルスの早期封じ込めを実現した中国での鉄鋼生産増加により鉄鉱石・ホットコイルの市況が急激に上昇しています。これを受け、国内の薄板価格も上昇に転じており、コイルセンターにとっては、原材料となるホットコイルの価格上昇分を転嫁出来るか否かによって、損益が大きく左右される状況となっています。

薄板・ホットコイル価格推移



鉄鉱石価格推移

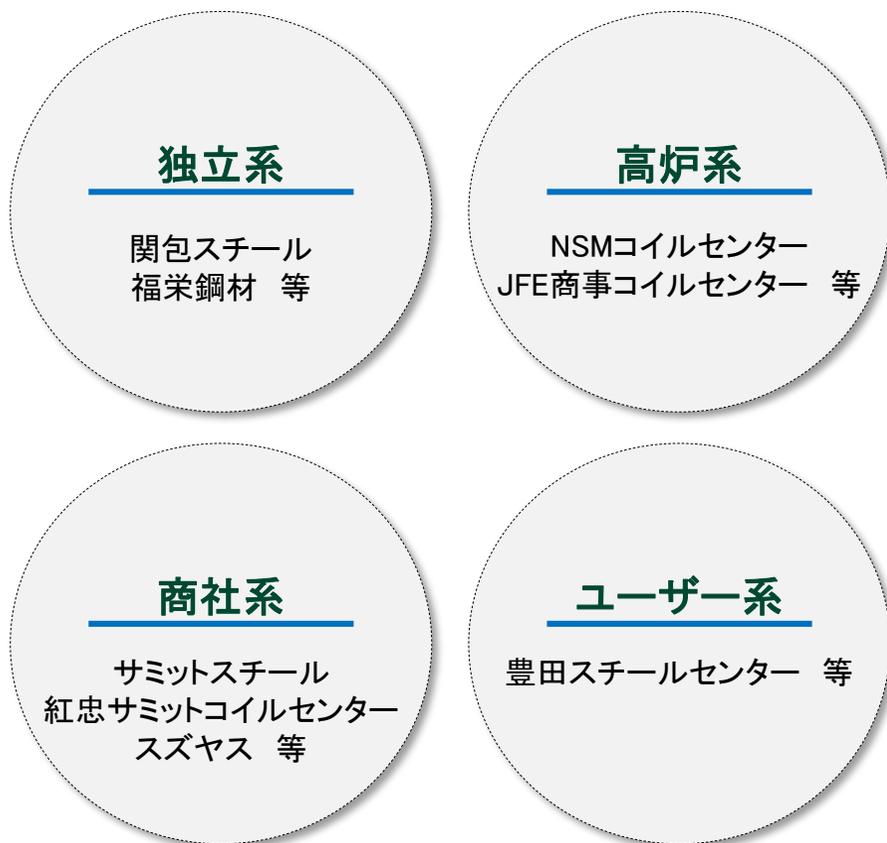


(出所)鉄鋼新聞社ホームページ(過去の市中相場)、Bloombergデータを基に弊社作成

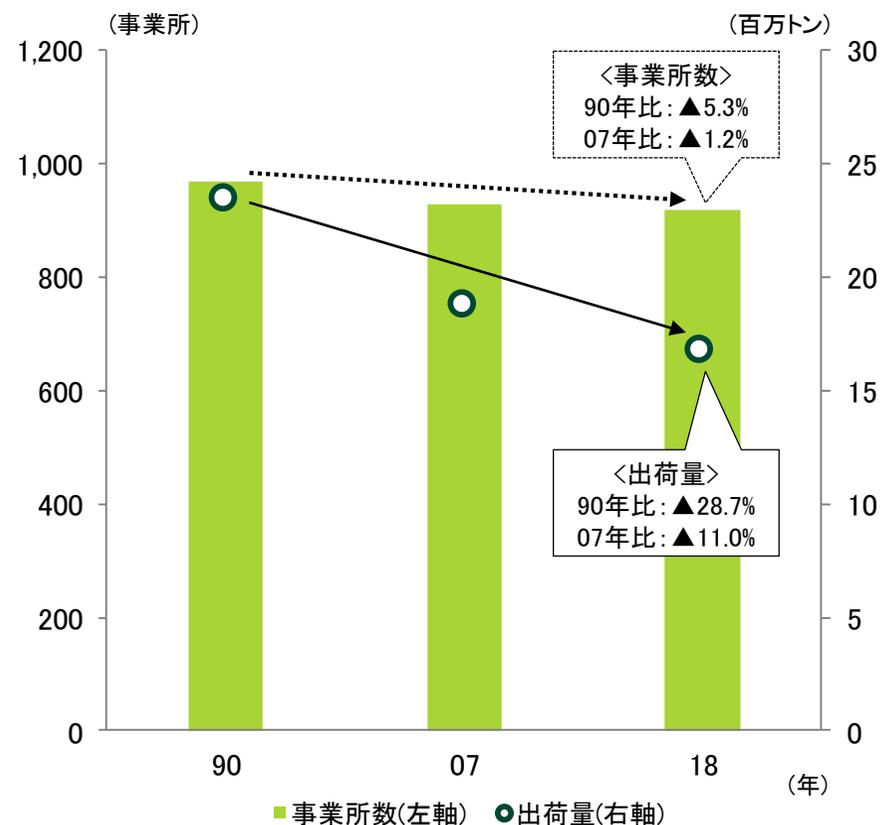
競争環境 ～主なプレーヤー～

- ✓ CCは資本系列によって、独立系、高炉系、商社系、ユーザー系の4つに分類され、オーナー家が主宰する独立系コイルセンターが大宗を占めています。
- ✓ またCCは、親密な鉄鋼メーカーや商社との永年に亘る取引実績や工場立地、主要ユーザー等によって一応の棲み分けはありますが、技術的な差別化は容易で無いうえ、市場縮小過程で淘汰が進まず依然として多数のプレーヤーが存在しており、各社とも厳しい競争に晒されています。今後、市場縮小が見込まれることを踏まえれば、競争は一段と厳しくなる可能性があります。

資本系列による分類



鉄鋼シャースリット業(*)の事業所数(10人以上)推移



(*)厚板のシャースリットを手掛ける事業者を含む。

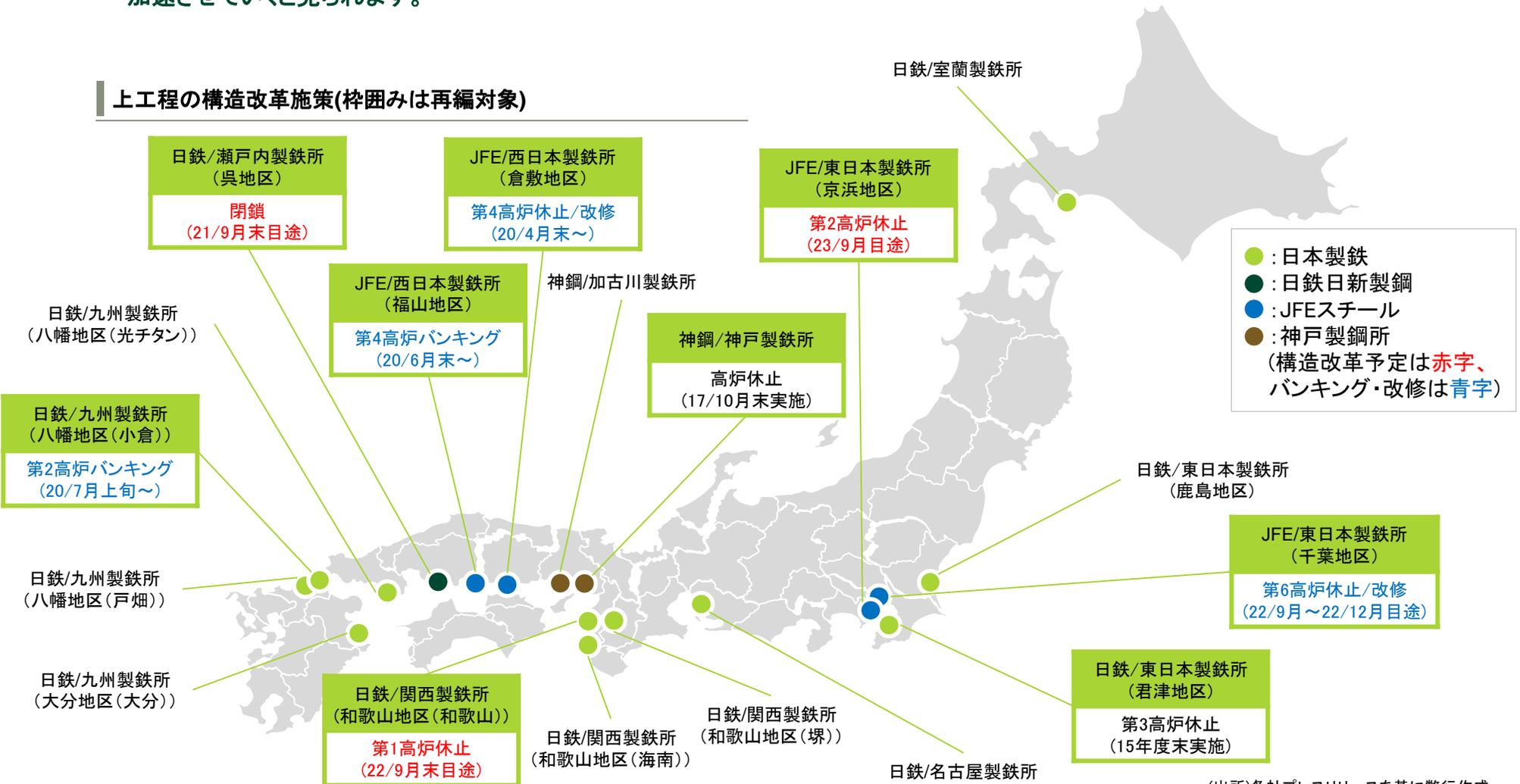
(出所)全国コイルセンター工業組合「流通調査結果」、経済産業省「工業統計」を基に弊社作成

3. コイルセンターを取り巻く環境の変化

高炉各社による生産体制見直し① ～上工程

- ✓ 14年以降、CCの母材生産を担う高炉各社では、コスト競争力強化等を目的に工場の休止や再編等による生産能力削減を進める動きが活発化しています。
- ✓ 高炉各社では、過去から内需縮小に対応する形でコスト圧縮効果の大きい高炉の休止等を進めてきましたが、今後もこうした取組を加速させていくと見られます。

上工程の構造改革施策(枠囲みは再編対象)



(出所)各社プレスリリースを基に弊行作成

高炉各社による生産体制見直し② ～下工程

- ✓ 加えて、高炉各社では、下工程における構造改革を進めつつあります。
- ✓ こうした取組の進展に伴って、CCにとっては、仕入価格の上昇圧力が強まることが想定されるほか、工場休止地域に立地するCCでは、取扱量の減少を余儀なくされる可能性もあります。

下工程の構造改革施策

企業	実施時期	内容
日本製鉄 (G会社含む)	19/10月実施済	✓ UO鋼管ライン(注)を休止し、君津製鉄所へ集約 (注) U7プレス、Oプレスにより成形し溶接した鋼管。
	20年度末目途	✓ 堺製造所の薄板ラインの一部を休止し、君津・名古屋製鉄所へ集約
	20年度末目途	✓ 広畑製鉄所のブリキ製造ラインを休止(休止時期前倒し:従来21年度上期中目途)
	22年度下期目途	✓ 名古屋製鉄所の厚板ラインを休止し、鹿島・君津・大分製鉄所に集約
	22年度末目途	✓ 製鋼所のチタン丸棒製造専用設備を休止
	21年度上期末目途	✓ 大分製鉄所(光地区)のチタン溶接管製造ラインを休止
	(1)20/12月末目途 (2)20年上期末実施済	✓ 衣浦製造所の(1)熱延工場及び、(2)精密品製造専用設備の休止
	20/5月実施済	✓ 君津製作所の小径シームレス鋼管製造ラインを休止し、和歌山製鉄所(海南地区)に集約
JFE ホールディングス	20/3月末目途	✓ 東日本製鉄所(京浜地区)の鋼板加工、表面処理ラインの一部休止
	23/3月末目途	✓ 東日本製鉄所(千葉地区)の缶用鋼板製造ラインの休止

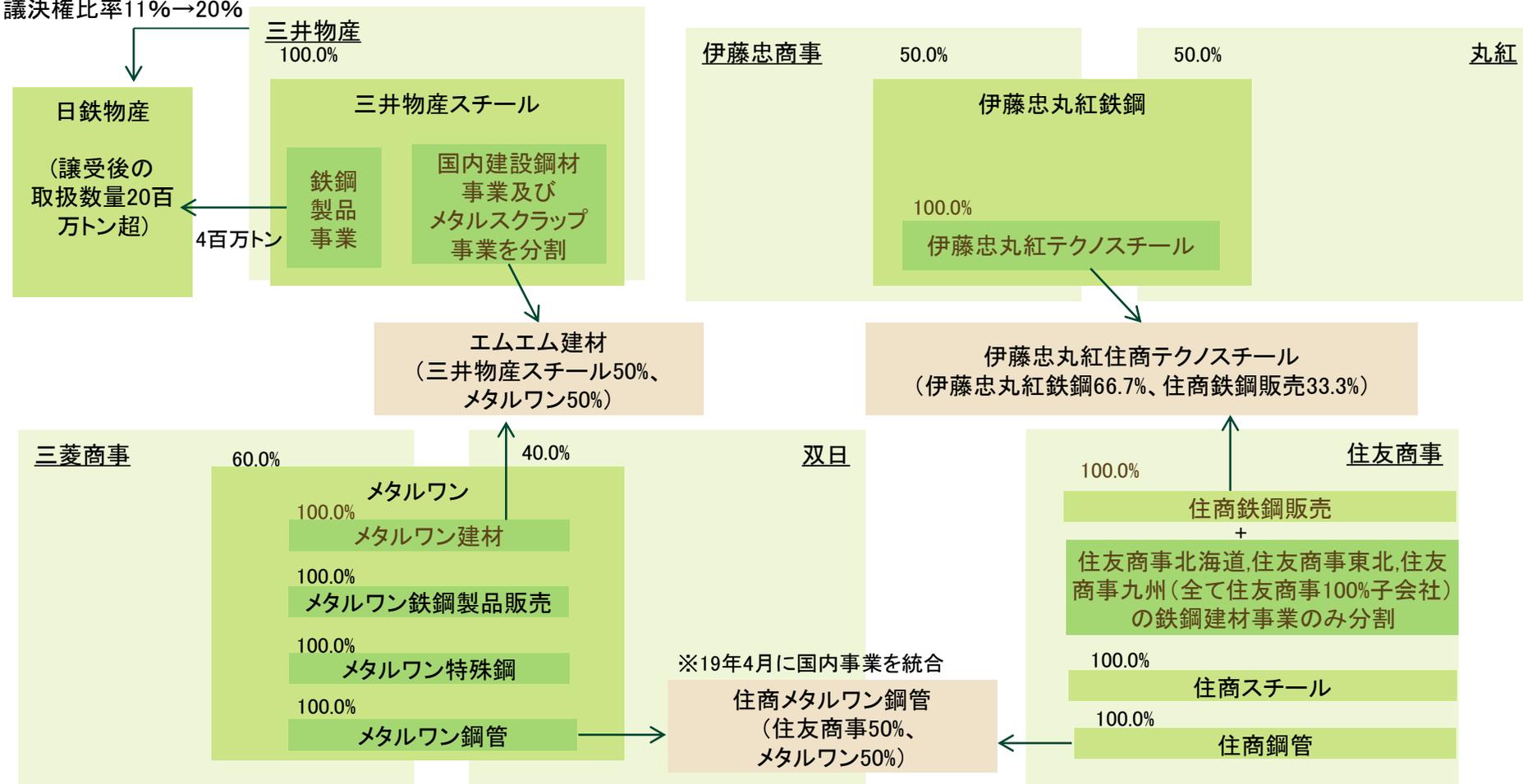
(出所)各社プレスリリースを基に弊行作成

鉄鋼一次商社同士の再編

✓ 他方、高炉各社による生産能力削減等の動きを受け、バイイングパワーやコスト競争力の強化等を目的に、系列を跨いだ一次商社同士の大型再編が起っています。

一次商社同士の再編事例(14年以降)

議決権比率11%→20%



(出所)各社プレスリリースを基に発行作成

4. 今後の方向性

今後の方向性

- ✓ CCはそもそも薄利を余儀なくされ易いなか、市場縮小やこれに伴う競争環境の激化、更には川上業界の再編進展を背景とする価格圧力の上昇等も要因として、今後一段と事業環境が厳しくなる惧れがあります。従って、CC各社では、生き残りを懸け、系列を跨いだ形での再編や淘汰が加速していく見通しです。

CCにおける今後の方向性

コイルセンターが抱える課題

- 1 川上業界(鉄鋼メーカー、商社)とユーザーの狭間で価格転嫁が容易で無く、**収益性は低位**に陥りがち
- 2 人口・世帯数の減少やユーザーの海外生産シフト等を背景に、**中長期的な市場縮小**は避け難い
- 3 市場縮小過程で事業者の再編・淘汰が進まず、**供給能力過剰**に陥っている



コイルセンターを取り巻く環境の変化

- 4 川上業界(鉄鋼メーカー、一次商社)の再編に伴う価格競争力の高まり、及び今後の**更なる再編進展**



今後一段と事業環境が厳しくなる惧れがあり、これに伴って
コイルセンターでは系列を跨いだ再編や淘汰が加速していく見通し

コイルセンター各社の再編動向

- ✓ 過去の再編事例を見れば、高炉系や商社系が主導するケースが主流となっています。こうした流れに加え、今後は独立系が絡む形での再編が進む可能性があり、この際には、同一地域に工場を有する、商流が類似している、後継者問題を抱えている、等が再編の切り口になると想定されます。

系列を跨いだ再編の事例(16年以降)

再編パターン		発表年月		再編の切り口
商社 × CC	高炉系 × 商社系	20/11月	JFE商事が三協則武鋼業(小野建子会社)と資本業務提携	地域・設備最適化
	高炉系 × 商社系 商社系 × 高炉系	19/2月	日鉄物産がサミットスチール(住友商事グローバルメタルズ子会社)へ、また住友商事グローバルメタルズがNSMコイルセンター(日鉄物産子会社)へ、相互に10%を出資	設備最適化
	高炉系 × 独立系 商社系	17/3月	JFE商事と阪和興業が、独立系CCの近江産業へ共同出資	事業再生
CC × CC	独立系 × ユーザー系	21/2月	独立系CCの根津鋼材が、豊通鉄鋼販売子会社の関東コイルセンターから事業譲受	設備最適化
	商社系 × 商社系	17/12月	広島スチールセンター(伊藤忠丸紅鉄鋼子会社)と住友商事グローバルメタルズ傘下のサミットスチール/中国地方事業を合併し、紅忠サミットコイルセンターが誕生	地域・設備最適化
	商社系(ユーザー系) × 商社系(高炉系)	16/4月	メタルワンとスズキが共同出資する浜松鋼板加工が、住友商事と日本製鉄が共同出資するウエアハウス工業を吸収合併	地域・設備最適化

(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

(参考)コイルセンターのグループ内再編動向

- ✓ 高炉各社や総合商社の系列に加えて、独立系においてもグループ内で再編を進める動きが見られています。
- ✓ 自社グループ内に複数のCCを抱えている場合には、重複地域での工場の役割見直し等による設備の最適化、間接部門の効率化等を目的とした再編が活発化することも想定されます。

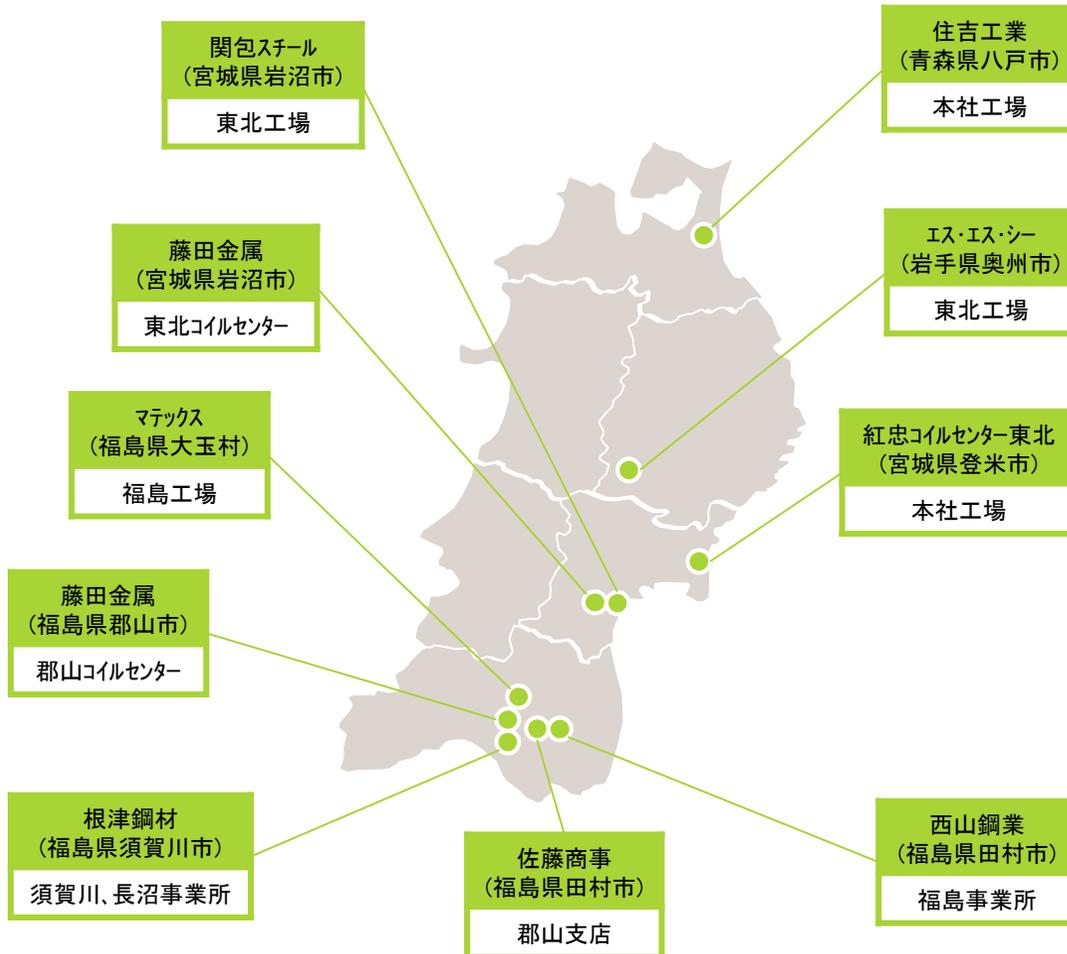
グループ内再編の事例(16年以降)

再編パターン		発表年月	内容
CC	日本製鉄グループ	20/12月	日鉄物産傘下のCCであるNSMコイルセンターがNSTコイルセンターを21/4月に吸収合併予定
		17/3月	日鉄物産傘下のCCであるNSMコイルセンターがエスエスシー北関東を吸収合併
×	CC	根津鋼材グループ	独立系CCの根津鋼材が、自社傘下の村田鋼業/CC部門を吸収合併
		住友商事グループ	住友商事傘下のサミットスチールが、北海道シャーリングを子会社化

(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

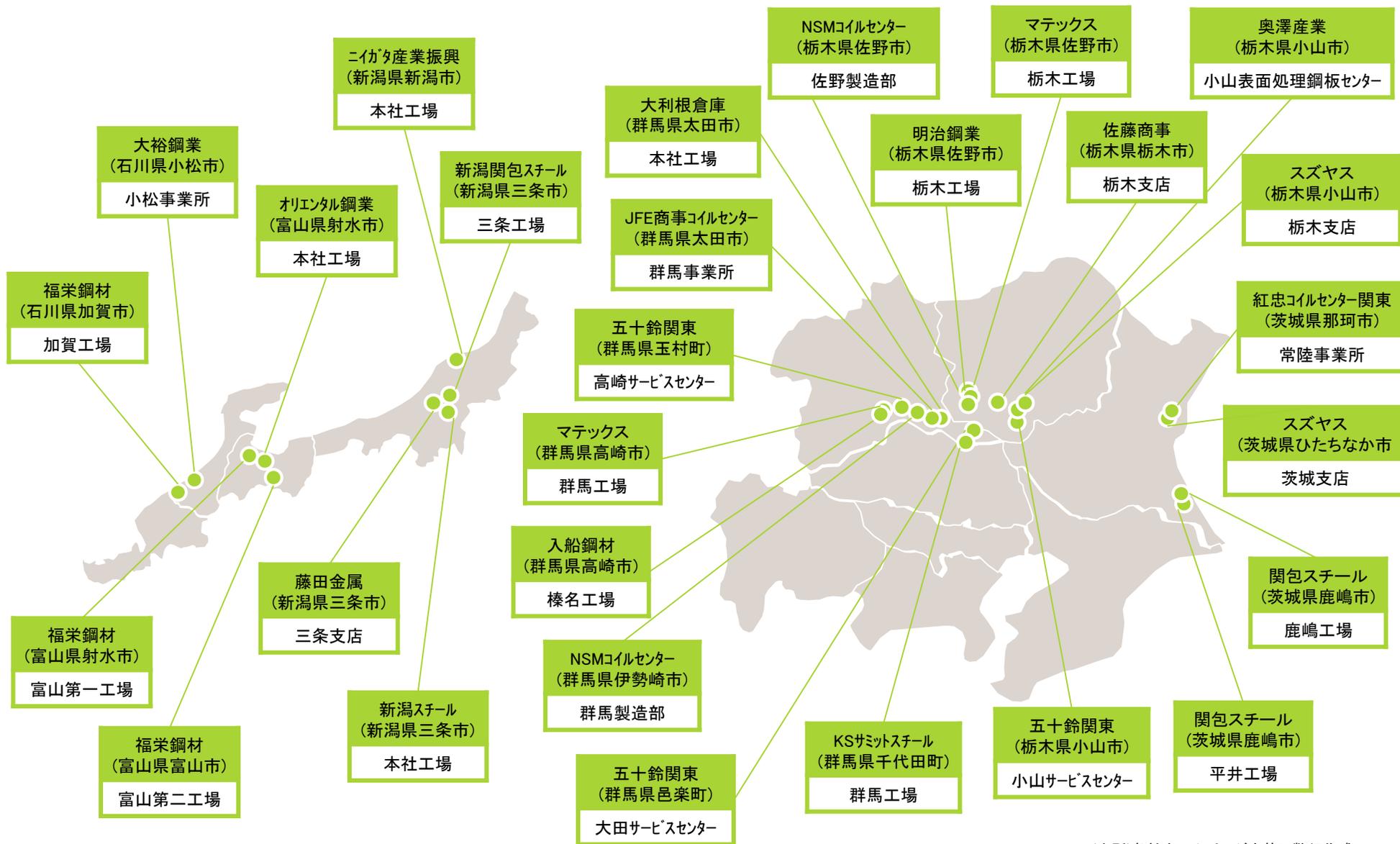
Appendix.コイルセンター工場分布

コイルセンター工場分布 ～北海道、東北



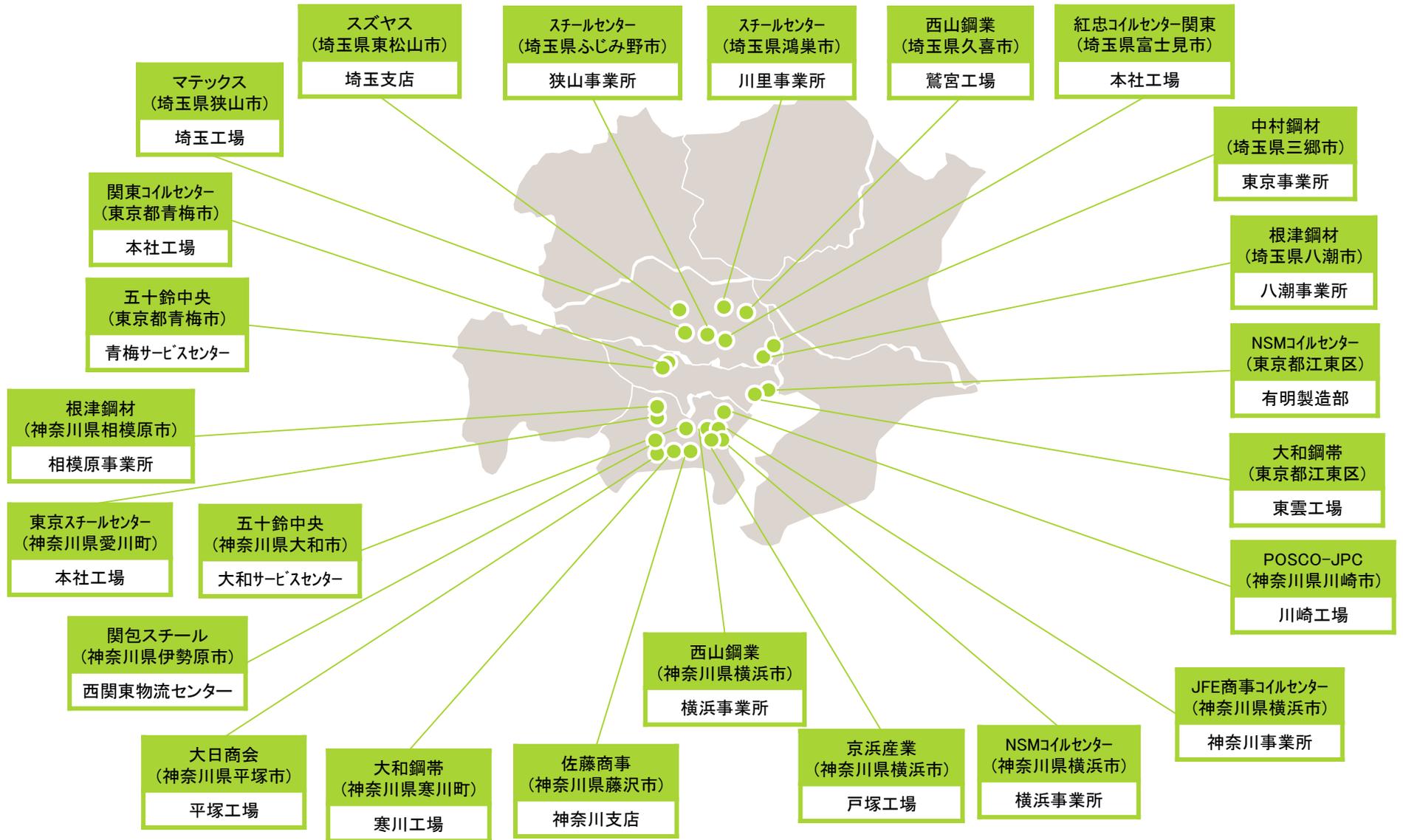
(出所)各社ホームページを基に弊社作成

コイルセンター工場分布 ～北陸、北関東(群馬県、栃木県、茨城県)



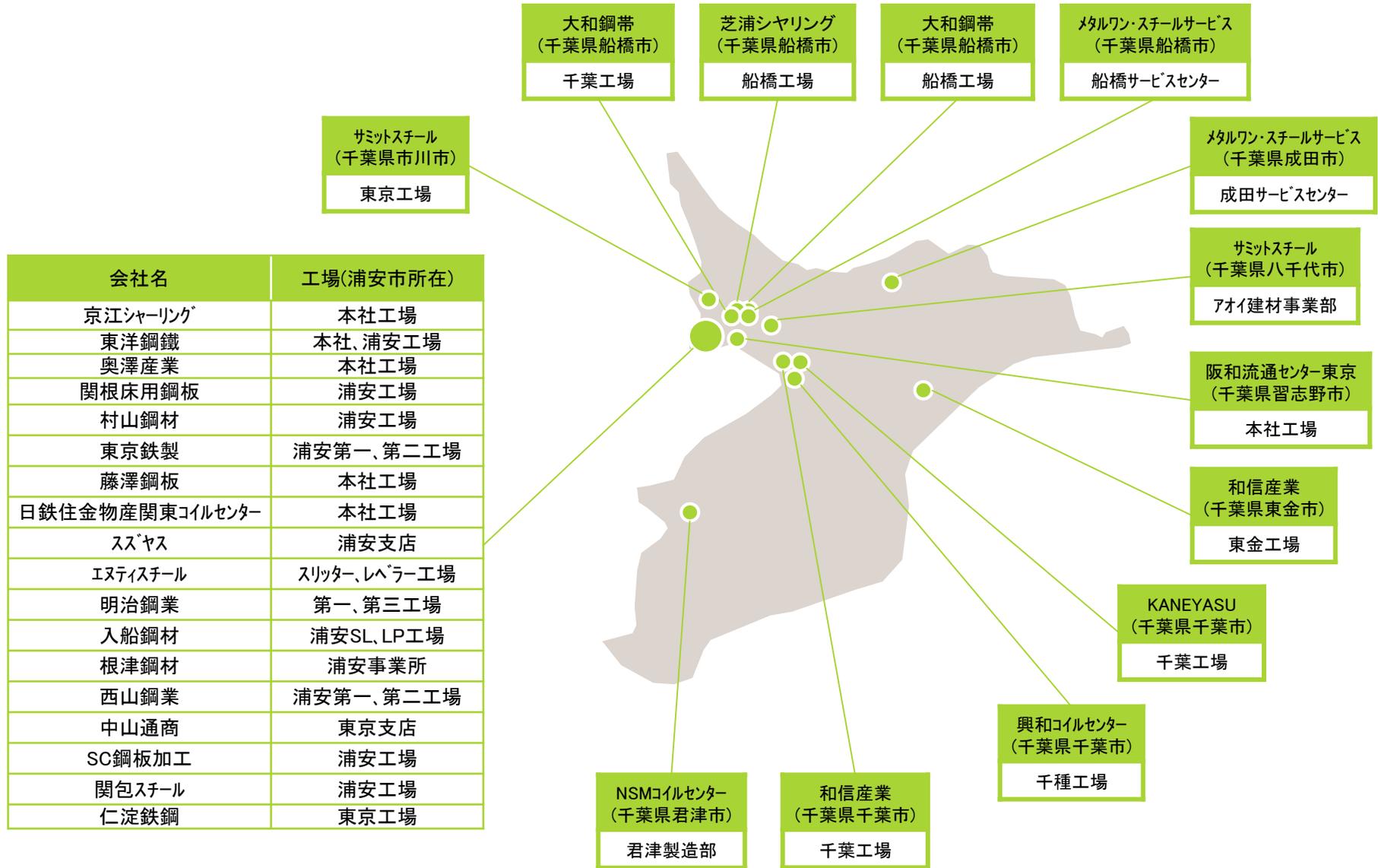
(出所)各社ホームページを基に弊社作成

コイルセンター工場分布 ～南関東(除く千葉県)



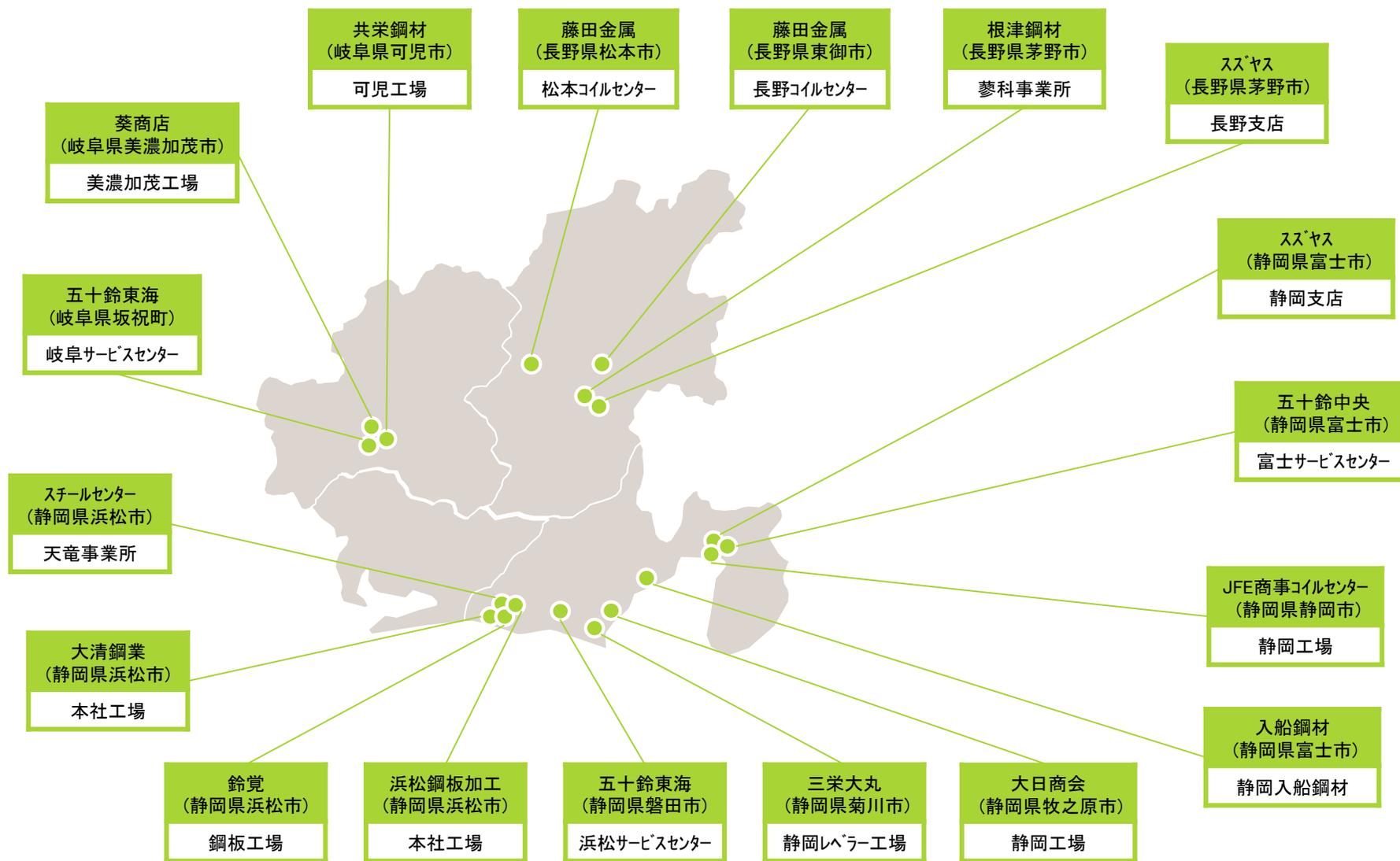
(出所)各社ホームページを基に弊行作成

コイルセンター工場分布 ～千葉県



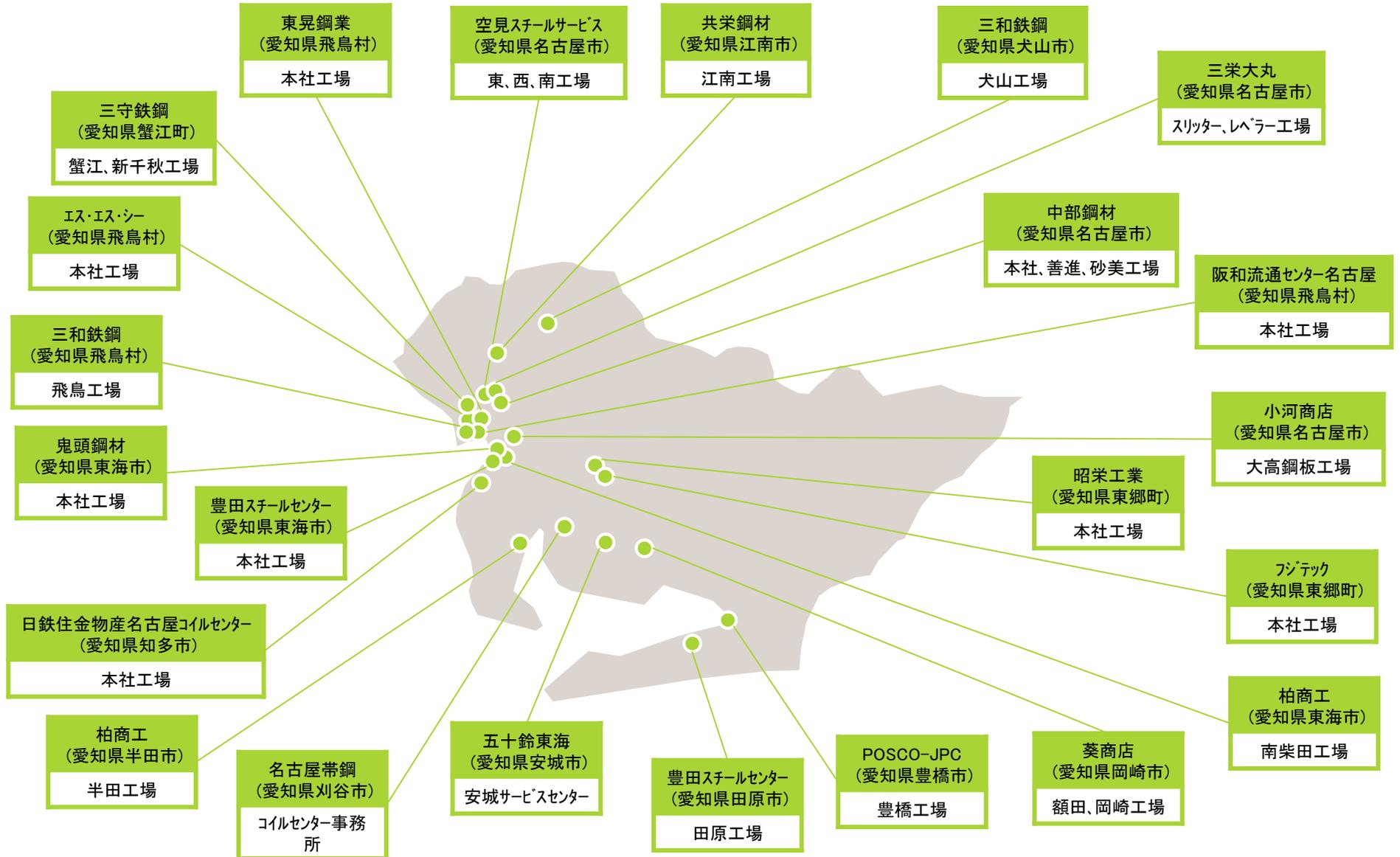
(出所)各社ホームページを基に弊行作成

コイルセンター工場分布 ～中部(除く愛知県)



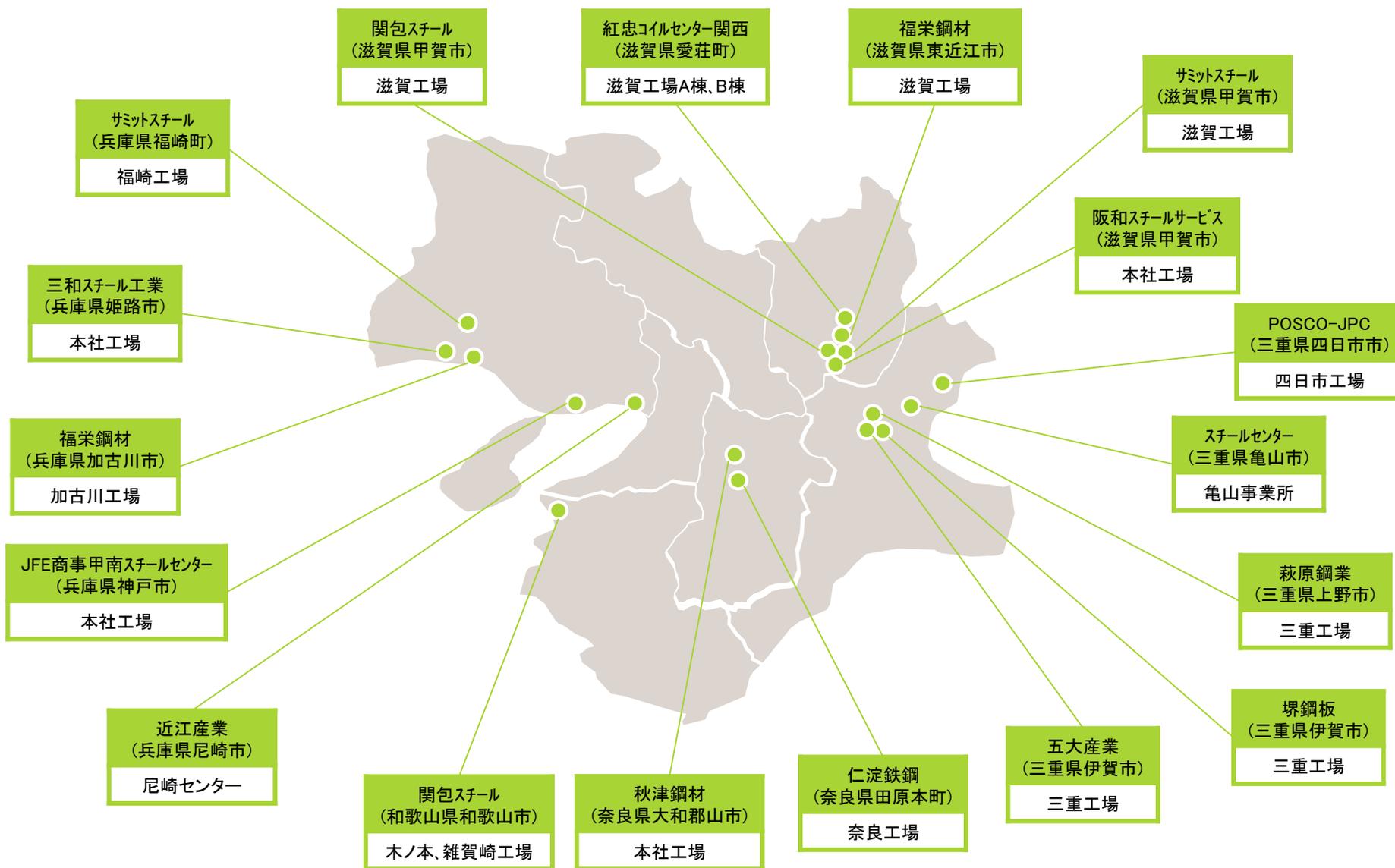
(出所)各社ホームページを基に弊行作成

コイルセンター工場分布 ～愛知県



(出所)各社ホームページを基に弊社作成

コイルセンター工場分布 ～近畿(除く大阪府)

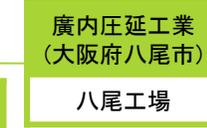


(出所)各社ホームページを基に弊社作成

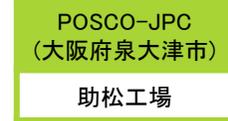
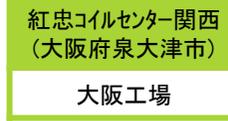
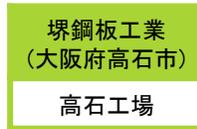
コイルセンター工場分布 ～大阪府



会社名	工場(大阪市所在)
関包スチール	大阪工場
NSMコイルセンター	大阪事業所
サミットスチール	大阪工場
廣内圧延工業	本社工場
高田鋼材工業	第一、第二工場
大阪鋼圧	第一、第二、第三工場
SC鋼板加工	大阪工場
西吉金属	本社工場
近江産業	鶴浜鉄鋼センター
鶴町製鉄	本社工場
NSTコイルセンター	本社工場

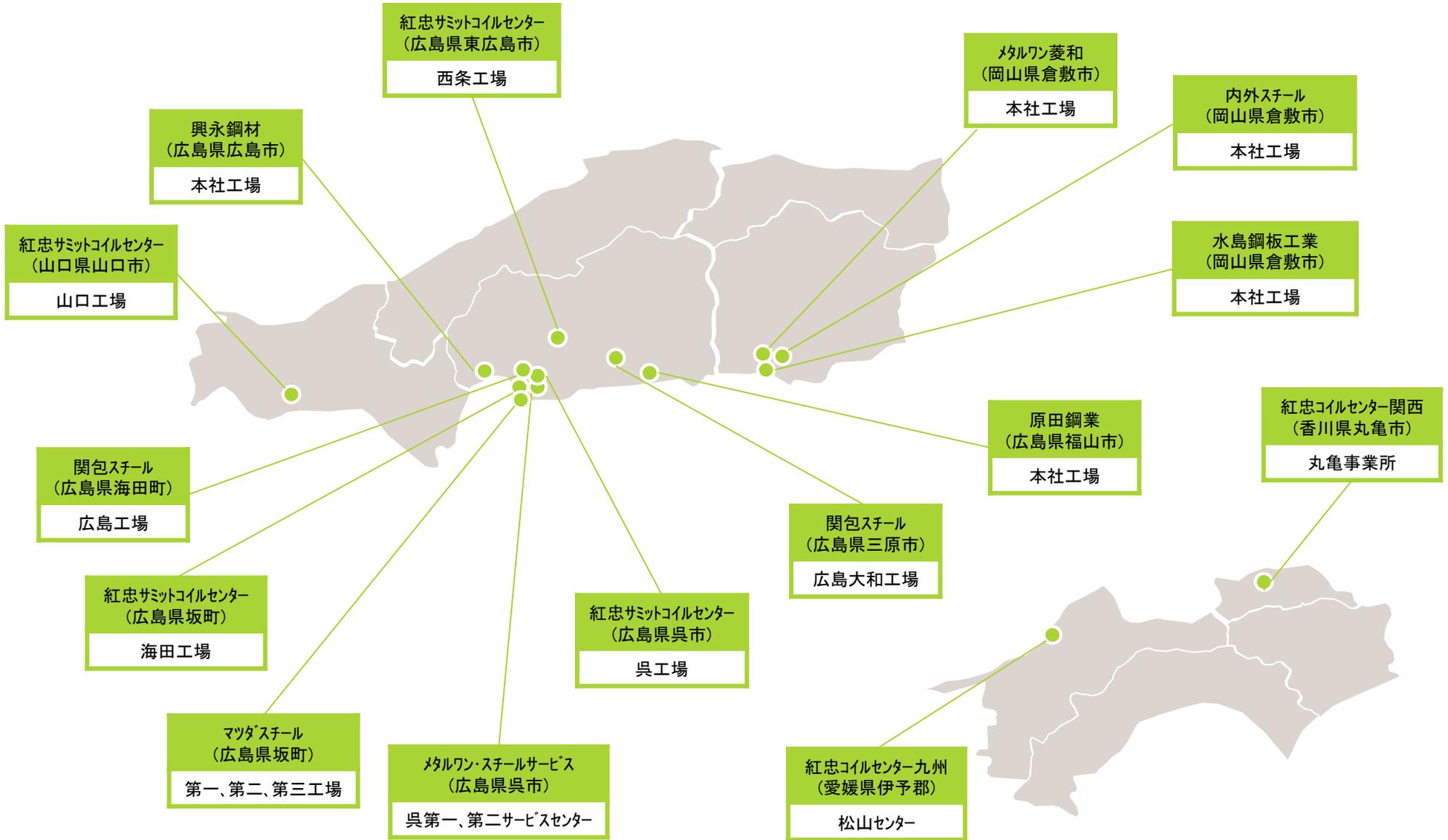


会社名	工場(堺市所在)
NSMコイルセンター	堺事業所
三協則武鋼業	本社工場
福栄鋼材	堺工場
堺鋼板	泉北センター
大裕鋼業	本社工場、堺浜事業所
堺鋼板工業	本社工場
三幸金属工業所	大浜、大浜第二鉄鋼センター、堺浜、堺工場
阪和流通センター大阪	本社工場



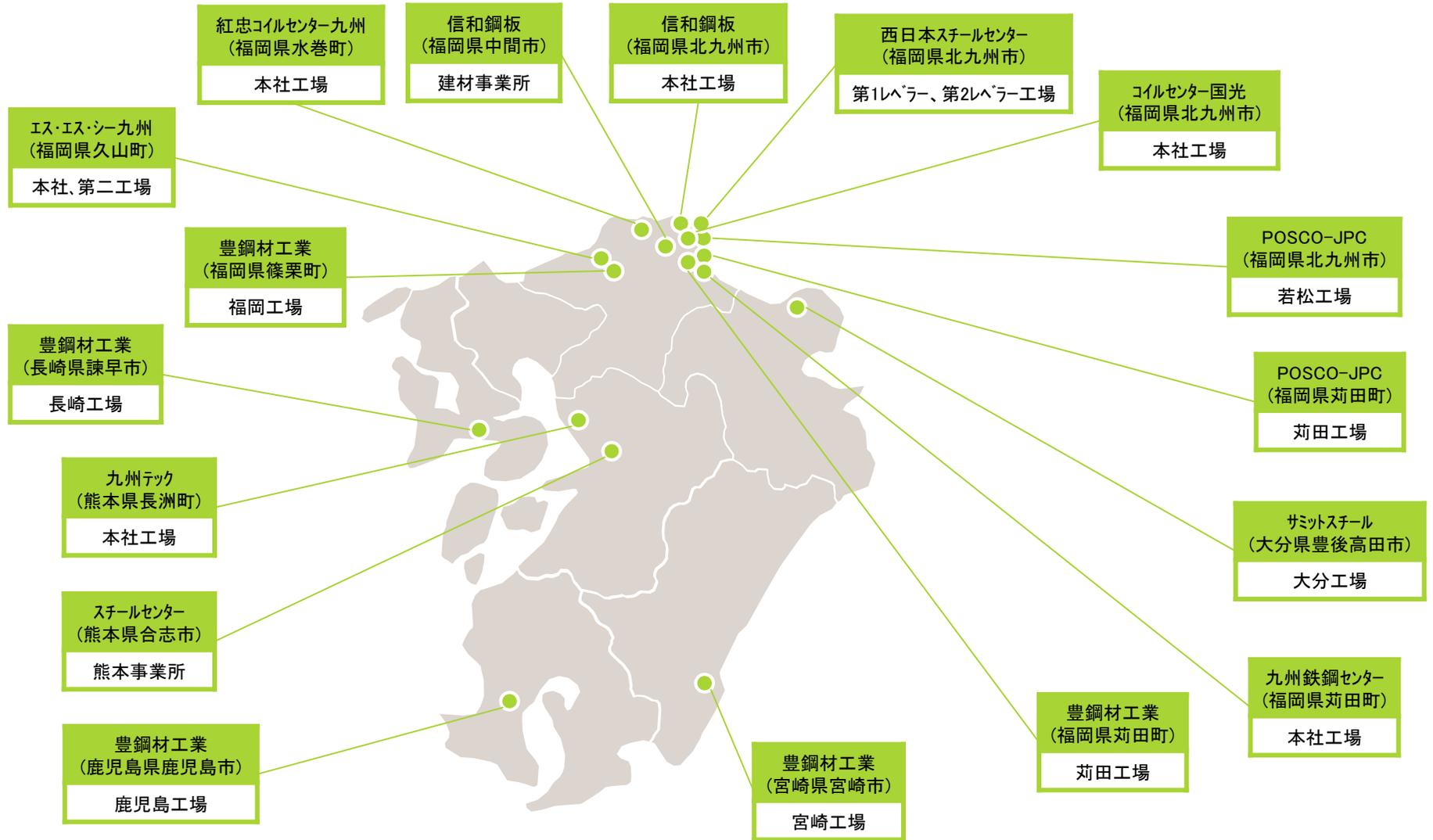
(出所)各社ホームページを基に弊行作成

コイルセンター工場分布 ～中国・四国



(出所)各社ホームページを基に弊社作成

コイルセンター工場分布 ～九州



(出所)各社ホームページを基に弊社作成